



その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.

元気なふるさとづくりミーティングin根室・宗谷 ～まちづくりワークショップ～の開催について

第7回元気なふるさとづくり交流大会～説明資料

2022年2月
北海道総合政策部地域創生局
地域政策課

取組概要

趣旨・目的

「元気なふるさとづくりミーティング」は、道内市町村の集落対策の促進のため、集落対策の有識者と地域関係者による、先進事例の視察や意見交換を平成30年度から実施しています。

今年度は、地域を支える人材づくり・担い手の育成をサポートする取組として、行政職員や地域おこし協力隊等の皆様と、一緒に、事例視察やまちづくりのアイデアを考えるワークショップを実施いたしました！

元気なふるさとづくりミーティングin根室

- 日時：2021年11月29日(月)
- ワークショップ会場：中標津総合文化会館
- 参加者：根室管内町村・根室振興局の若手職員、
地域おこし協力隊員など
- プログラム
 - ・ 先進事例視察：ゲストハウス「ushiyado」
 - ・ ゲストスピーカーからのプレゼン
 - ・ まちづくりワークショップ
 - 地域課題解決に向けたグループワーク

元気なふるさとづくりミーティングin宗谷

- 日時：2021年12月6日(月)
- ワークショップ会場：消防組合猿払支署
- 参加者：宗谷管内町村・宗谷総合振興局の若手職員、
地域おこし協力隊員など
- プログラム
 - ・ 先進事例視察：猿払村施設園芸栽培調査研究施設
 - ・ ゲストスピーカーからのプレゼン
 - ・ まちづくりワークショップ
 - 地域課題解決に向けたグループワーク

参加者について



元気なふるさとづくりミーティングin根室

■ 受講者 14名

- 別海町職員・協力隊員 2名
- 中標津町職員 2名
- 羅臼町職員・協力隊員 3名
- 根室農業改良普及センター職員 2名
- 根室振興局職員 5名

■ アドバイザー

元気なふるさとづくり研究会委員

- (株)まちづくり計画設計 松村博文氏
- 酪農学園大学教授 井上誠司氏

■ ゲストスピーカー

- ushiyadoオーナー
(有)竹下牧場 竹下耕介氏
- べつかい移住ちゃんねる
テゴネシ・ショウ氏



元気なふるさとづくりミーティングin宗谷

■ 受講者 14名

- 猿払村協力隊員 2名
- 中頓別町職員・協力隊員 3名
- 豊富町職員 4名
- 稚内北星学園大学 3名
- 宗谷総合振興局職員 2名

■ アドバイザー

元気なふるさとづくり研究会委員

- 北星学園名誉教授 杉岡直人氏
- 北海学園大学教授 鈴木聡士氏

■ ゲストスピーカー

- 猿払村地域おこし協力隊
塚田治幸氏
- 中野商店
中頓別町地域おこし協力隊OB
中野巧都氏



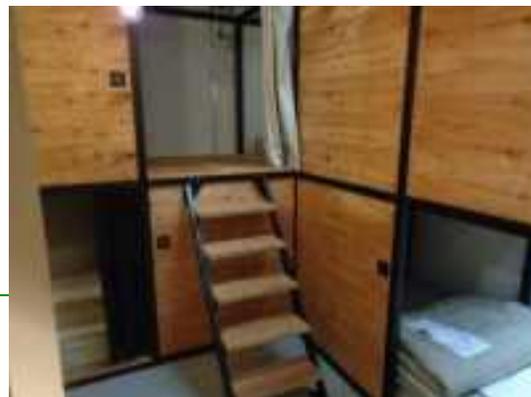
ふるさとづくりミーティングin根室①



現地視察

ゲストハウス「ushiyado」

酪農を核に中標津町のまちづくりに取り組む竹下さんが運営するゲストハウス「ushiyado」を視察。町内の空き店舗を改築して、町内外の人の交流を目指す施設として設立。竹下さんから「旅人だけではなく地元の人も含め様々な交流が生まれて欲しい」と、地域づくりの思いもお話ししていただきました。



現地視察の様子

ふるさとづくりミーティングin根室②



まちづくりワークショップ

参加者が3つのグループに分かれて、それぞれ「移住定住促進」「空き家対策・拠点づくり」「人材育成・確保」のテーマに沿って、地域課題の解決に向けたグループワークを行ないました。



発表内容 主なもの

- 空き家・拠点づくりでは、単なる交流施設ではなく、漁師・ハンターなどの体験ができる施設。また、教育の拠点としての活用などのアイデアがでた。
- 人材育成・確保では、年代を分けてアイデアを考え、資格取得の増やす仕掛けや、幅広い産業で経営を学ぶ重要性などが話し合われていた。

■ワークショップ発表会の様子

ふるさとづくりミーティングin宗谷①

現地視察

猿払村施設園芸栽培調査研究施設

猿払村では廃校のグラウンドにICTを活用した園芸栽培調査施設を新設。若い地域おこし協力隊員3名が、葉物野菜やイチゴの産地化による地域活性化に向けて実証実験を行なっています。塚田隊員から研究内容のほか、猿払村の活性化に向けて「最北端イチゴ産地への挑戦」への思いを聞くことができました。



猿払村施設園芸栽培調査研究施設



塚田隊員からの説明



説明で使用された写真
(村内業者のイチゴジャム)



ふるさとづくりミーティングin宗谷②



まちづくりワークショップ

参加者が3つのグループに分かれて、それぞれ「地域交通」「SNS等魅力発信」「特産品開発」のテーマに沿って、地域課題の解決に向けたグループワークを行ないました。



発表内容 主なもの

- 地域交通では、シームレス化に向けて稚内空港の乗り換え機能を更に充実させてはどうかといった議論や、自動運転のモデル地区としてはどうかなどのアイデアがでた。
- 特産品開発では「ソウルフードをつくろう」を目標に掲げ、youtube やインスタグラムなどで発信しながら、地域に足を運んでもらうには、どのような方策があるか話し合われていた。

■グループワーク発表会の様子

アンケート結果・今後の予定

アンケート・感想

■ ミーティングの内容について	満足	やや満足	普通
先進事例視察	81.8%	9.1%	9.1%
ゲストスピーカーのプレゼン	88.6%	6.8%	4.6%
グループワーク	72.7%	22.7%	4.6%

■ 感想・意見等

- ・地域おこし協力隊員2名の話しが対照的で印象に残った。周囲との役割分担や協力などの参考になる話を聞くことが出来た。グループワークも企画検討の手段として勉強になった。
- ・要望の多い「子育て」「高齢者」の課題のみではなく、若い方々に「地元の良さ」を感じてもらえるようなアイデアを出し、まちづくりに活かしたい。

今後の取組予定

- 今回2回開催したふるさとづくりミーティングの開催概要をHPや集落関係の情報媒体に広く発信していきます。
- ふるさとづくり研究会（集落対策の有識者会議）に審議・アドバイスをいただき、次年度の取組を検討します。

令和4年度
日高管内及び檜山管内で
実施を予定